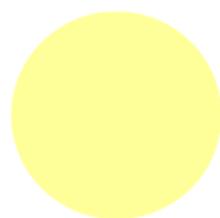




# report 2011

## 取り組み報告書



～未来のために、子どもたちのために～  
つなげていく、つないでいく

**アカチャンホンポ**

# 1 目次

- 1 目次
- 2 アカチャンホンポの取り組み
- 3 被災地のママへ
- 4 ホワイトトリボン運動
- 5 エコ活動
- 6 子育て支援活動①②③
- 7 品質・店舗へのこだわり
- 8 2012年に向けて

アカチャンホンポのホームページ内  
「未来のために」では、取り組みについて掲載しています。  
<http://www.akachan.jp/csr/index.html>

## 2 アカチャンホンポの取り組み



### 子育て 支援活動

エコ

ボランティア

### ～未来のために、子どもたちのために～ つなげていく、つないでいく

2011年、アカチャンホンポでは、初めてパパママになる方、おじいちゃんおばあちゃんになる方、また家族に赤ちゃんを迎えるさまざまな方へ向けて、「あたたかな気持ちになること」を提案したいと取り組みを開始しました。それは、赤ちゃんの持つ力、赤ちゃんがいることによって生まれるコミュニケーションを大切にすることを伝えることです。そうして、赤ちゃんを想うすべての方の「あたたかな気持ち」を世界に未来に、つなげ、つないでいきたいと考えました。

そんな中、3月11日に「東日本大震災」が発生しました。アカチャンホンポでも、東北の店舗を中心に被害を受けましたが、被災地の母と子、そしてすべての子育て家庭に向けて、アカチャンホンポだからこそできることをしようと、支援物資の提供や被災地のママへ届ける募金の呼びかけ、チャリティーイベントの実施などを行ってきました。これらはまさに、赤ちゃんを想うすべての方の「あたたかな気持ち」をささやかながら応援することでした。アカチャンホンポにできることは小さなきっかけ作りにすぎませんが、たくさんの方にご参加いただき、あたたかな気持ちをたくさんお寄せいただいたことに、大変感謝しております。皆さまのお気持ちは、責任をもって被災地のママへ届けています。日本全国、そして世界の各国が力を合わせることで、こんなにも大きな力になるということを、改めて気づかされる1年でもありました。

被災された皆様へは、心よりお見舞い申し上げます。

# 3 被災地のママへ

～東日本大震災発生後の対応について～



被災地のママに必要なものを届けよう！募金」で商品を受け取った母子



上：3月28日、宮城県多賀城市に支援物資が到着  
下：支援物資配布の様子

## ■支援物資を用意し、被災地のママのもとへお届けする

3月11日に東日本大震災が発生しました。大変な思いをしている被災地のママへ物資を届けたいと、アカチャンホンポでは、紙おむつ、粉ミルク、離乳食などの支援物資を用意しました。そして、これらが必要としているママたちの手に直接届くよう、被災地の助産師と連携が取れる国際協力NGOジョイセフ (<http://www.joicfp.or.jp/>)と協力し、岩手、宮城、福島、茨城の4県7カ所にお届けしました。支援物資は、地元助産師の協力を得てママたちに配布されました。物資の支援だけでなく、助産師とお話ができることは、被災地のママにとってとても心強いものだったようです。

## ■店頭募金の実施

店頭では、募金箱を設置しました。5月末日までに約376万円の募金が集まり、セブン

&アイホールディングスより被災された各県と長野県栄村へお届けしました。その後6月からは、「被災されたママと赤ちゃんのために寄付したい」というお客さまの要望を受けて、被災地の妊産婦募金を実施しています。

## ■「被災地のママに必要なものを届けよう！」募金の実施

募金だけでなく、「妊産婦と赤ちゃんのニーズに合ったものを、ニーズのあるときに、ニーズのあるところへ届けたい！」という思いで、5月27日より「被災地のママに必要なものを届けよう！募金」を通販サイトにて実施しています。ジョイセフと連携し、被災地の助産師などを通じて現地の声を直接聞き、皆様からお預かりした募金を「妊産婦・赤ちゃん」が必要としている商品に換えてお届けするものです。この募金で手配する商品は、原価と配送費等の実費のみをいただく形で用意しています。

## 支援物資

ジョイセフを通して岩手、宮城、福島、茨城の4県7カ所にお届けしました。

おしりふき	9,600個
粉ミルク	916個
紙おむつ	1,260パック
ベビーフード	16,543個
ベビー飲料	1,824本



## 募金

### ■支援募金

実施期間：3月13日～5月31日  
アカチャンホンポで集まった額：3,769,449円  
セブン&アイホールディングスより被災された各県と長野県栄村へお届けしました。

### ■被災地の妊産婦募金

実施：6月1日～  
募金総額：589,310円 ※うち258,300円は、チャリティーワークショップイベントにて募金いただいたものです。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計(円)
募金総額	109,825	174,306	149,469	76,712	37,619	41,379	589,310
うち、チャリティーワークショップ	69,000	130,300	59,000	0	0	0	258,300

ジョイセフを通して被災地の妊産婦のための活動に役立てられています。  
[http://www.joicfp.or.jp/jp/tohoku\\_earth\\_quake/donation\\_tohoku/](http://www.joicfp.or.jp/jp/tohoku_earth_quake/donation_tohoku/)

## 被災地のママに必要なものを届けよう！募金

実施：5月27日～  
募金件数：126件  
募金総額：350,000円  
※12月11日現在

### 【第1回目お届けの様子】



被災産婦の産褥入院受け入れを開始する助産院へ、母子が入院するのに必要な物をお届け。  
●届け先：福島県内の助産院  
●お届けした物：ベビーバス・バスタオル・ベビーベッド・ベビー組布団・洗い替えセット

### 【第2回目お届けの様子】

福島県で実施されている助産師の家庭訪問活動の際に使う、訪問キットを50セットお届け。

- 届け先：「会津助産師の家おひさま」
- お届けした物：短肌着・長下着のセット、水99%おしりふきケース・詰め替え用セット



### 【第3回目お届けの様子】

- 届け先：「会津助産師の家おひさま」
- お届けした物：新生児肌着だけでなく3カ月、6カ月の赤ちゃん用肌着も欲しいという要望があり、合計60セットの訪問キットをお届け。
- 届け先：「会津助産師の家おひさま」「コミュニケーション助産院」他
- お届けした物：新生児短肌着・コンビ肌着のセット、60cmと70cmそれぞれの長袖コンビロンパス2枚セット、水99%おしりふきケース

- お届け先：「相馬助産所」「(社)日本助産師会福島県支部 子育て・女性の健康支援センター」
- お届けした物：新生児短肌着・コンビ肌着のセット、60cmと70cmそれぞれのあったか素材の長袖コンビロンパス2枚セット、水99%おしりふきケース・詰め替え用セット、くまのプーさんの赤ちゃん用おもちゃ



### 【第4回目お届けの様子】

- 届け先：「会津助産師の家おひさま」
- お届けした物：新生児短肌着・コンビ肌着のセット、60cmと70cmそれぞれのあったか素材の長袖コンビロンパス2枚セット、水99%おしりふきケース・詰め替え用セット、くまのプーさんの赤ちゃん用おもちゃ

## 4 ホワイトリボン運動

アカチャンホンポは、国際協力NGOジョイセフのホワイトリボン運動を応援しています。

(C) Miki Tokairin/JOICFP



ザンビアに肌着が届いた様子

### ■ 世界中のママと赤ちゃんの命を守る、ホワイトリボン運動の応援

アカチャンホンポでは2009年5月から、ジョイセフのホワイトリボン運動を応援し、募金箱の設置などを実施してきました。ジョイセフは東日本大震災の発生後、被災地の妊産婦支援にも力を入れており、赤ちゃん本舗はその活動を応援しています。

### ■ 「赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう！」の継続的な実施

医者、助産師が深刻に不足しているザンビアでは、健診会場の簡易保健所へは、妊婦が2時間以上歩かなければならない現状があります。自給自足の農作物で生活しているため、現金収入がほとんどないザンビアの女性たち。ザンビアの簡易保健所では、無料で出産介助を受けられますが、出産時

に使うゴム手袋や消毒液の他に、生まれてくる赤ちゃん用の衣類など、事前に用意しなければならないものが不足しています。そこで赤ちゃん本舗では、2010年4月より「赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう！」を実施し、お客さまから不要な赤ちゃんの肌着・ウェアをいただき、ザンビアへ届ける活動を行ってきました。2011年7月に49店舗にて実施し、お客さまからいただいた肌着は、9月にザンビアへ届き、妊産婦さんたちへ配られました。赤ちゃんの肌着・ウェアは、妊婦さんの安全なお産を守るため、ジョイセフによって建設されたマタニティ待機ハウスの利用促進のためにも活用されています。



ジョイセフ  
JOICFP

途上国の妊産婦と女性を守る  
<http://www.joicfp.or.jp/>

### ホワイトリボン運動



ジョイセフは、開発途上国の妊産婦の命と健康を守る国際的な「ホワイトリボンアライアンス (WRA)」に参加し、日本からの支援を集め、途上国の妊産婦と女性たちのためにさまざまな支援活動を行っています。赤ちゃん本舗は、ジョイセフの「ホワイトリボン運動」を応援しています。

[http://www.joicfp.or.jp/jp/special\\_feature/white\\_ribbon/](http://www.joicfp.or.jp/jp/special_feature/white_ribbon/)  
■また、ジョイセフが主催する「MODE for Charity 2011」に協賛しています。

### 募金

1月	26,530円
2月	19,974円
3月	17,728円

合計 64,232円

いただいた募金はすべて、ジョイセフを通して開発途上国の母と子の命を守る活動に役立てられています。

※3月13日からは被災地募金、6月1日からは被災地の妊産婦募金を実施しております。

### 赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう！



第4弾で集まった肌着・ウェアがザンビアに届いた様子

第1弾 2010年4月15日～5月7日 (1店舗)  
第2弾 2010年6月21日～7月4日 (9店舗)

約2,000枚の肌着・ウェアが集まりました。

第3弾 東日本大震災の影響で中止  
第4弾 2011年7月1日～7月14日 (49店舗)

約25,000枚の肌着・ウェアが集まりました。

第5弾 2011年11月17日～11月30日  
(全店舗 ※一部店舗を除く)

約20,000枚の肌着・ウェアが集まりました。

「第4弾 赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう！」で集まった約25,000枚の赤ちゃんの肌着・ウェアは、9月上旬、ザンビアのマタニティハウスに到着し、そこで待機するザンビアの妊産婦さんたちに、配布されています。まだまだ肌着・ウェアは不足しているため、第5弾からは実施店舗を全店舗(※一部店舗を除く)に拡大し、回収枚数のアップを目指していきます。

# 5 エコ活動

アカチャンホンポは、チャレンジ25キャンペーン  
(<http://www.challenge25.go.jp/>)に参加しています。



チャリティーワークショップで参加者が作ったキャンドル

## ■エコ割引の実施

アカチャンホンポでは2009年6月から、CO<sub>2</sub>削減の取り組みのひとつとして、500円以上お買い上げいただいた方を対象とし、レジ袋はいりませんとお申し出いただいたら2円値引きする「エコ割引」を実施しています。レジにはPOPとレジ袋不要カードを設置しています。

## ■「節電」をテーマとした、チャリティーワークショップの実施

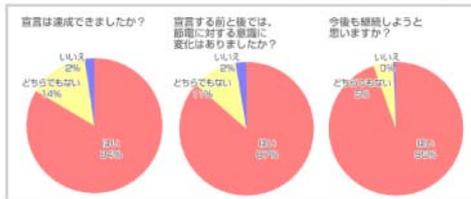
2011年、全国的な電力不足のため、節電に対する意識が高まりました。そこで、東日本大震災の妊産婦募金のためのチャリティーワークショップのテーマを「節電」とし、お子様と一緒に楽しみながらエコについて考えるきっかけとなるイベントを企画しました。たくさんの方に参加いただき

約25万円の募金を集めることができました。いただいた参加費はすべて、ジョイセフを通して被災地の妊産婦のための活動に役立てられています。

## ■エコアクションカード2011

従業員の取り組みとして、6月の1か月間「エコアクションカード2011」の取り組みを実施しました。今年のテーマは「節電」とし、ひとりひとりが自分のできる節電に関する取り組みを考え実施しました。これは、節電に関する意識を高める機会にもなりました。

取り組み後のアンケートより



上：従業員によるエコチャレンジ2011の宣言  
下：エコチャレンジ2011の宣言カード

## 店舗での節電の取り組み

3月の東日本大震災以降、赤ちゃん本舗では大阪にある本社をはじめ、東京電力、東北電力管内の店舗を中心に、照明や空調の節電を実施しました。

東京・東北電力管内の店舗では、3月から9月の累計で昨年同月を比較すると、31.1%の節電を行いました。

※うち、  
東北電力管内の店舗は22.8%、  
東京電力管内の店舗は32.7%

## エコキャップ回収



従業員の取り組みとして、ペットボトルのキャップを集めてNPO法人エコキャップ推進協会に送付しています。800個でポリオワクチン1人分が購入されます。

2009年の取り組み開始から、2011年12月7日現在で122,400個、約153人分のワクチンになりました。

## チャリティーワークショップ



上：風鈴づくりの様子  
下：うちわづくりの様子

被災地の妊産婦募金のため、約50店舗でチャリティーワークショップを開催しました。テーマは「節電」とし、動物のろうそくづくり、真っ白な風鈴に絵を描く風鈴づくり、木のうちわに絵を描くうちわづくりの3つのイベントを実施しました。参加費は200円で、いただいた参加費はすべて、ジョイセフを通して被災地の妊産婦のための活動に役立てられています。たくさんの親子が、ワークショップを楽しみ、節電について考える機会となりました。

===集まった募金===

ろうそくづくり・・・69,000円  
風鈴づくり・・・130,300円  
うちわづくり・・・59,000円

合計・・・258,300円

いただいた参加費はすべて、ジョイセフを通して被災地の妊産婦のための活動に役立てられています。

## 6 子育て支援活動①

～子育て応援のイベント～



西武高槻店にてイベントの様子



上：コトのひろばイベント「親子サンバイベント」  
下：1年の成長記録「手形取り」ワークショップ

### ■店内イベントの実施で、子育てを応援する

アカチャンホンポでは、店内でさまざまなイベントを実施しています。商品の提供だけでなく、幅広い視点でお客さまの子育てを応援し、育児を楽しむお手伝いをしていきたいと考えています。

### ■コトのひろばの取り組み

「コトのひろば」は、アカチャンホンポの店内に設置したスペースで、育児を楽しむためのさまざまな情報（コト）を、イベント・セミナー・体験会を通して提案する場所です。普段は、パパ・ママ・お子さまたちにゆったりとくつろいでいただく空間として解放しています。スタッフと



西武高槻店 コトのひろば

お客さまがより近い場所にいることのできる、「コトのひろば」ならではのイベントをこれからも企画し、実施していきます。

### ■親子で楽しめる、ワークショップの開催

月に1回程度、約30店舗にて、6歳くらいまでのお子さまを対象とした無料ワークショップを行っています。店内スペースを利用したこのワークショップは、お正月のコマ作りや、こいのぼり作り、ハロウィンマスク作りなど、シーズンごとにテーマを設けて実施しています。毎回たくさんの親子にご参加いただき、お子さまたちはとても楽しそうに、そして真剣に作品を仕上げられました。これからも、店内に笑顔があふれるような、そして季節を感じられる楽しいワークショップを、継続して開催していきます。

### 日本公文教育研究会共催 「こそだてちえぶくろ」

公文の先生とアカチャンホンポのスタッフが、お子様連れのパパと、歌・読み聞かせの実践を、プログラムに沿って体験するイベントです。3回1セットで定期参加していただく、少人数制のイベントです。おうちの歌い聞かせ、読み聞かせのきっかけにするために、楽しくご参加いただいています。「コトのひろば」の定番イベントとして、開催店舗を拡大しています。



### 栄養相談会



赤ちゃんの栄養や離乳食の進め方などについて、気軽に相談できる「栄養相談会」を定期的実施しています。また、新しい取り組みとして、「ママ向け試食salon」を実施しました。これは、和光堂の栄養士による、離乳食の始め方、切り替え方などの疑問、栄養バランスなどトータルに話し合える、ママ同士のコミュニティイベントです。レトルトフードやお菓子を試食しながら、同じ離乳食期のおさま連れのママ同士が集まって、お互いの交流を取りながら、楽しく相談できます。コトのひろば設置の店舗で、定期的開催をしています。

### ワークショップ



5月5日の子どもの日に向け、お店に集まったお子さまみんなが、それぞれ色を塗りました。それを集めて、ひとつの大きなこいのぼりを作りました。



==== 2011年実施 ====

- 1月 オリジナル手回しコマ作り
- 2月 貼り絵でお雛様作り
- 3月 1年の成長記録「手形取り」
- 4月 みんなのこいのぼり作り
- 6月 ★オリジナルキャンドル作り
- 7月 七夕の短冊飾り
- 7月 ★オリジナル風鈴作り
- 8月 ★オリジナルうちわ作り
- 9月 ☆ハロウィンマスク作り
- 10月 ハロウィン店内シールラリー
- 11月 クリスマスツリーにメッセージを書こう!
- 12月 ☆クリスマスツリー作り

※★はチャリティー企画  
※☆はペインティングバルーンを作成

お子さまの手形や足形を取り、特製の枠に入れて1年の成長記録としてプレゼントしました。

## 6 子育て支援活動② ～パパ向けイベント～



広島アルパーク店で実施のプレパパナイトツアーにて



FQとコラボした、家族撮影会の様子

### ■ パパの育児を応援します!

アカチャンホンポでは、パパも使いやすい商品の開発や、パパ向けイベントを通して、パパの育児を応援します。

### ■ パパが育児にかかわる「きっかけ」づくりの提供

パパが仕事の後でも参加できる時間に、妊婦の身体の変化や妊娠から育児までに必要な商品の知識を得ることができる「プレパパナイトツアー」を開催しています。広島女性教育センターや、いしかわ子育て支援財団などの地域の団体の協力を得て、プレパパナイトツアーの拡大版を開催したり、11月19日を「いいイクメンの日」として29店舗でプレパパナイトツアーを実施したりしました。さらにこの日は、「パパの想いをお子さまに伝えよう!メッセージ募集」も行いました。

### ■ パパが主役の、さまざまなイベントの開催

イクメン向け雑誌「FQ」とコラボし、家族の写真撮影会を行いました。たくさんのパパが、お子様を抱っこして撮影会に望んでいました。また、6月には、店内で「子育ておべんきょうラリー」を実施。子育てに関するクイズに答えて応募すると、抽選でプレゼントが当たる企画です。携帯で簡単に参加できるため、たくさんのパパたちにご参加いただきました。



パパの育児で  
おべんきょうラリー

### 地域の団体とコラボし、イベントを開催

1月29日、広島女性教育センター、ファザーリングジャパンとコラボし、アカチャンホンポ広島アルパーク店にて「プレパパナイトツアー&プレパパ・プレママおしゃべりナイトサロン」を開催しました。8組のプレパパとプレママにお越しいただき、プレパパナイトツアー(その間ママは座談会)と、ファザーリングジャパンの方による講義などを行いました。



11月5日、金沢店にて「プレパパ・プレママナイト教室」を実施。これは、いしかわ子育て支援財団とコラボしたイベントです。和光堂栄養士による講習会、沐浴講習・ミルクづくり実演体験、石川県子育て応援についてのお話、プレパパナイトツアー、プレママ雑談会、パパへのメッセージ作成など、盛りだくさんのイベントとなりました。

### パパの育児を応援する商品の開発

男性好みのシンプルなデザインと、高めの持ち手にするなどの工夫をしたベビーカー、また、大きな手の男性でも使いやすいように指穴を大きめにしたサンバツバサミなど、パパの育児を応援する商品の開発も行っています。「パパもOK!サンバツバサミセット」は、そのコンセプトを評価され、「第5回キッズデザイン賞」を受賞しました。

チェルシー  
カラープラス



キッズデザイン賞受賞商品



KIDS DESIGN  
AWARD 2011



パパもOK!サンバツバサミセット

## 6 子育て支援活動③

～さまざまな子育て支援の形～



マタニティスクールでの沐浴実習の様子



上：尼崎市立成良中学校での活動の様子  
下：ママコミの座談会の様子

### ■マタニティスクール

マタニティスクールは、ご夫婦で参加いただき、助産師を講師に招いて講義や沐浴実習を行うイベントです。初回の開催は1985年で、20年以上にわたってプレパパ・プレママへ出産についてお伝えしてきました。今年度は51店舗、計196回開催しました。11月26日には、新しい形として、資生堂とコラボした「ビューティアップセミナー&マタニティスクール」をアリオ橋本店にて開催しました。また、12月6日には、尼崎市立成良中学校に赤ちゃん人形と妊婦体験ジャケットを貸し出し、助産師と連携した「生命倫理教育」の活動協力を行いました。

### ■10月10日は「赤ちゃんの日」

赤ちゃん本舗では、10月10日を「とつきとおか」にちなんで赤ちゃんの日としています。赤ちゃんの健やかな成長を祈り、「生まれてきてくれてありがとう」を伝える日です。

当日は、プレゼントや値引き券、メッセージ募集の他、店頭でドコモスマートフォンを使って親子の似てる度をチェックできるアプリゲームのコンテンツ提供などを行いました。



### ■地域の取り組み

都道府県や市町村が取り組んでいる子育て応援事業へ、積極的に登録を実施しています。「子育てにやさしい店」として、赤ちゃん休憩室でのおむつ換えや授乳スペース、ミルクのお湯提供などを紹介しています。

### ■ママコミュニティの活動

妊娠・育児中の従業員約150人による組織「ママコミュニティ」や、ケータイサイトでお客さまへのアンケートを通して、ママたちの声を商品開発や、よりよいお店づくりに取り入れています。

### チャイルドシートのチェックアップイベント



日本自動車連盟（JAF）と共同し、チャイルドシートのメーカー5社との協力で、チャイルドシートのチェックアップイベントを実施しました。正しい取り付けが、赤ちゃんを守ることに繋がります。全国18店舗の駐車場で、チャイルドシートの正しい取り付けについてアドバイスをしました。

### ベビーサイン体験会

2月、5月、8月、11月に、日本ベビーサイン協会の認定講師を各店舗に招き、ベビーサインの体験教室を実施しました。店内の特設会場には、たくさんのママと赤ちゃんが訪れ、楽しく体験されていました。



### 行政との取り組み

【参加一覧】

都道府県	登録事業	市町村	登録事業
青森県	あおもり子育て応援わくわく店	旭川市	旭川市こどもには赤ちゃんステーション
群馬県	ぐ〜よきサポート	宇都宮市	赤ちゃんの駅
埼玉県	パパママ応援ショップ	春日部市	赤ちゃんの駅
"	赤ちゃんの駅	横浜市	ハマハグ
東京都	赤ちゃんふらっと事業	岐阜市	びよか
石川県	赤ちゃんの駅(プレミアムサポート事業)	高槻市	赤ちゃんの駅
長野県	ながの子育て家庭優待サポート	飯塚市	赤ちゃんの駅
岐阜県	ぎふっこカード		
静岡県	しずおか子育て優待カード		
愛知県	はぐみんカード		
滋賀県	淡海子育て応援団		
京都府	きょうと子育て応援サポート		
大阪府	まいど子でもカード		
兵庫県	ひょうご子育て応援の店		
奈良県	なら子育て応援団		
広島県	子育て応援 イクちゃん		
愛媛県	えひめのびのび子育て応援隊		
福岡県	子育て応援の店		
佐賀県	子育て応援の店		



2011年11月末現在、登録しているのは18都道府県、7市町村で、参加店舗数は57店舗です。地域の皆さまの出産・子育てを応援しているお店であることをもっと知っていただくために、登録を進めています。

「埼玉県 赤ちゃんの駅」子育てが安心して外出できる環境づくりを進めることを目的としています。

## 7 品質・店舗へのこだわり



ホルムアルデヒドの含有試験の様子



上：強度試験の様子  
下：摩擦係数試験の様子

### ■ 検査データの「見える化」による、徹底した品質管理

アカチャンホンポには、たくさんの商品が並んでいます。企画、生産、販売までの各シーンでアカチャンホンポ基準にもとづいた確認作業を行うことにより、お店に並ぶ全ての商品についての品質を保証しています。繊維製品については、公的検査機関で行なった生地や製品に対しての品質検査のデータを「見える化」し、企画・工場・品質管理部門がリアルタイムで情報共有できる、業界内でも画期的な『アカチャンホンポQCweb』というインターネットシステムを開発し管理を行っています。衣料品は、一般財団法人ボーケン品質評価機構に試験を委託しており、アカチャンホンポの品質基準に則った厳しい試験が行われています。たくさんの基準をクリアした商品だけが、アカチャンホンポの店頭に並びます。安全性を厳しく管理することは、赤ちゃん用品を提供する企業にとって社会的使命であると考えています。

### ■ 安全な売り場づくりの工夫

パパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃん、お子さまなど、すべてのお客さまにとって、安全でお買い物しやすい環境となるように配慮しています。商品を並べる棚の角を丸くしたり、飛び出したフックが危ないようにフックカバーをつけたり、通路の幅を広くしたり、また、ハサミやカッターナイフなどの使用を厳しく管理しています。

### ■ よりよいお店、商品を目指して

お店に掲示している表示物についても、誤解を与えないか、見にくくないかということを定期的に確認しています。そして、アカチャンホンポに寄せられたお客様の声は「ステップアップメッセージ」として全社で共有し、商品に対するご要望は、商品改良の貴重な情報源と捉え、生産現場まで伝えて改善を図っています。常にお客様の求める品質に目線を合わせて、お客様の声を形にしていきます。

## キッズデザイン賞

「パパもOK! サンバツスキバサミセット」と「水99%おしりふき Premium(テンセル) 70枚×2個パック」が、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催(後援:経済産業省)の「第5回キッズデザイン賞」を受賞しました。さらに、「水99%おしりふき Premium(テンセル) 70枚×2個パック」は、「第5回キッズデザイン賞ソーシャルキッズプロダクツ部門 優秀賞」を受賞をいただきました。



水99%おしりふき Premium (テンセル) 70枚×2個パック



パパもOK! サンバツスキバサミセット

キッズデザイン賞 受賞



KIDS DESIGN AWARD 2011

キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。

## スタッフ研修

出産や子育てをサポートするスタッフの育成を目的とし、研修を実施しています。あいさつの基本となる発声練習や、お客さまのニーズに応える専門知識を学ぶ環境づくりをしています。



研修の様子。



## 8 2012年に向けて



### ～未来のために、子どもたちのために～

赤ちゃん本舗は2012年、創業80周年を迎えます。  
さまざまな形でお客さまへの感謝の気持ちを表現し、  
また、これまで行ってきた活動にさらなる思いを込めて取り組みます。

赤ちゃんを心から愛する企業として、日本のみならず、  
世界中の赤ちゃんの未来に希望の灯りをともらいたいと考えます。  
2009年から取り組みを続けているホワイトリボン運動では、  
生まれてくる子どもたちとママの命を守るため、  
2012年はさらに積極的な取り組みを実施します。  
世界中に赤ちゃんの笑顔があふれますように。

皆さまと一緒にあたたかい気持ちをシェアさせて下さい。